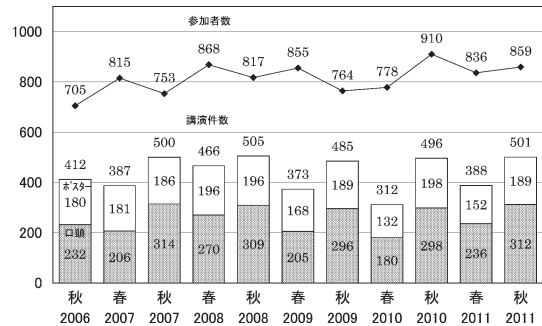


## 2011年度秋季大会の報告

2011年度秋季大会は、名古屋大学（名古屋市千種区不老町）を会場として2011年11月16日（水）～18日（金）に行われた。参加者数（前納登録者と当日受付者の合計）は859名で、過去5年間の秋季大会では昨年度（京都）に次ぐ数であった（第1図）。

2日目午後には、豊田講堂・ホールにおいて山本・正野論文賞が三瓶岳昭氏と河谷芳雄氏に、堀内賞が中島孝氏と島田浩二氏に、奨励賞が大鐘卓哉氏、木下仁氏、倉敷市立多津美中学校理科部会（代表：難波治彦氏）にそれぞれ授与された。授賞式に続いて山本・正野論文賞及び堀内賞の受賞記念講演が行われた。記念講演に引き続き、大会シンポジウム「理学と工学の融合が切り開く新しい都市環境学」が開催され、5件の基調講演と総合討論が行われた。

大会期間中は、ポスターまたは口頭発表による一般講演、並びに特定のテーマに基づいて世話人が編成する5件のスペシャル・セッションが行われた。一般講演の発表件数は424件（内訳はポスターが189件、口頭発表が235件、口頭発表1件当たりの持ち時間は9分）、スペシャル・セッションの発表件数は77件で計501件であった。



第1図 過去5年間の大会参加者数と講演件数（口頭、ポスター）。

会期中およびその前日には、個別のテーマによる3件の研究会が開かれた。

最後に、今大会実行委員会として大会準備・運営にご尽力頂いた名古屋地方気象台、名古屋大学、日本気象協会中部支社をはじめとする中部支部の皆様へ深く感謝の意を表します。

2011年11月 講演企画委員会